

事例紹介

きのくに医療連携システム青洲リンク

青洲リンク

 <http://www.seishu-link.jp/>

システムの概要

[システムの実施目的・地域など](#)[参加団体数と参加患者数](#)[参加の同意方法について](#)[患者さんの同意取得の詳細](#)[サービスについて](#)[共有できる情報項目](#)[共有情報の取得元](#)[システムについて](#)[通信ネットワーク](#)[ログインセキュリティ](#)[主なIT企業](#)[サービス利用・参加料金](#)[蓄積された個人情報の利用](#)[予算について](#)[費用の負担について](#)

システムの概要

システム名	きのくに医療連携システム青洲リンク
代表団体	きのくに医療連携システム青洲リンク協議会
運用開始状況	導入済み：2013年
稼働状況	サービス運用中
運用終了年	
提供地域	和歌山
自治体の参加状況	その他の形で参画している
事務局運営人数	兼任3人

システムの実施目的・地域など

システムの導入目的	医療連携、在宅医療対策
地域の課題	来たるべき大災害に備えて、地域医療のBCPの確立が喫緊の課題である。県域にわたる医療連携のコアネットワークの構築。
システム導入効果	(○) 患者サービスが向上した

<p>凡例：(○) 効果あり、 (△) どちらとも言えない、(×) 効果なし</p>	<p>(△) 患者の負担が軽減した (△) 医療機関間で機能分化が進んだ (△) 医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ (△) 医療機関間の人的ネットワークが進んだ (△) 医師の偏在を補う効果があった (△) 患者紹介の円滑化が進んだ (○) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった (△) 診療所の支援が受けられるようになった (△) 業務全体の負担軽減 (△) 医師の負担軽減 (△) 看護師の負担軽減 (△) 事務職員の負担軽減 (△) 技術職員の負担軽減 (○) 従事者間の情報共有が向上した (○) 従事者間の連携が向上した</p>
システムの課題	機能拡張。対象エリア、参加医療機関の拡大。
工夫した点	参加医療機関拡大
対象地域	全県域での連携

参加団体数と参加患者数

参加団体と参加患者数	<p>【病院】 実施中：12施設 【医科診療所】 実施中：33施設 【歯科診療所】 実施中：3施設 【薬局】 実施中：110施設 【介護施設】 【その他】</p>
利用施設数の割合	
登録患者数状況	実績数
登録患者数	1055
情報共有している患者状況	実績数
共有患者数	409

参加の同意方法について

医療機関等	医療機関施設毎の参加判断
介護施設・その他	
患者さん	患者施設毎

患者さんの同意取得の詳細

新規の患者さん	同意書による取得
撤回する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
連携先の増加	連携先追加の掲示板,Webページ等による周知(黙示同意) 連携先追加の同意書による取得

サービスについて

疾病	
サービス	電子紹介状、遠隔医療、遠隔カンファランス、電子おくすり手帳、画像情報の共有、検査機関との連携、患者用IDカードの発行、医療従事者用モバイル対応、その他のサービス情報共有、その他のサービスEメール・メルマガなど
補足・備考	

共有できる情報項目

基本情報	患者基本情報、病名情報
文書	
オーダ情報	処方オーダ、注射オーダ、検体検査オーダ、放射線検査オーダ、内視鏡検査オーダ、生理検査オーダ
検査結果	検体検査結果、生理検査結果、画像
調剤結果	調剤結果
その他	

共有情報の取得元

共有情報の取得元	病院電子カルテより、病院レセコンより、医科診療所電子カルテより、医科診療所レセコンより、歯科診療所レセコンより、薬局レセコンより、検査センターより
----------	---

システムについて

連携方式	クラウド型
情報共有の形態	双方向での共有、参照のみ
患者IDシステム	独自開発のシステムを利用
標準化ストレージ	SS-MIX 2
情報の保存場所	院外のデータセンター
障害対策	提供ベンダーのサービスを利用、待機系サーバを遠隔地に設置
厚労省標準規格の採用	医療におけるデジタル画像と通信

通信ネットワーク

医療機関等との通信	医療機関との通信IP-VPN、医療機関との通信インターネットVPN、医療機関等との通信インターネット
介護施設・その他施設との通信	
患者さんとの通信	

ログインセキュリティ

医療機関・薬局用	2要素認証、IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者さん用	

主なIT企業

企業名（1）	（株）サイバーリンクス
企業名（2）	
企業名（3）	

サービス利用・参加料金

病院（開示施設）	実施中：有料 補足：和歌山県立医科大学附属病院は月額189000円電子カルテ有り・300床以上は141750円300床未満は94500円レセプトの場合は35500円
病院（閲覧施設）	実施中：有料 補足：和歌山県立医科大学附属病院は月額189000円電子カルテ有り・300床以上は141750円300床未満は94500円レセプトの場合は35500円
診療所	実施中：無料 補足：初期費用10000円
薬局	実施中：無料 補足：初期費用10000円
介護施設	
患者さん	

蓄積された個人情報の利用

地域の医療費適正化の目的で利用	
学術研究等の公益目的で利用	実施予定
公益目的以外で利用	

予算について

構築費用概算	377649（千円）
年間運用費用概算	17665（千円）
保守費概算	17606（千円）
その他年間費用概算	59（千円）

費用の負担について

実施中システム構築費の負担	自治体の負担
実施中システム運用費の負担	参加施設の負担
実施予定システム構築費の負担	国の負担（厚労省）
実施予定システム運用費の負担	参加施設の負担 国の負担

[← 事例一覧へ戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#) 

- ▶ 医療情報連携ネットワークはなぜ必要？
 - ▶ 出発点は地域医療を良くしたいという思い
 - ▶ 医療情報連携ネットワークの導入効果
 - ▶ 利用者の声（導入効果）

 - ▶ 医療情報連携ネットワークをどう作る？
 - ▶ 医療情報連携ネットワークの構築手順
 - ▶ 実施のポイント
 - ▶ 利用者の声（苦労した点、成功要因）
 - ▶ ガイドライン、書式例など

 - ▶ 医療情報連携ネットワークの具体例を見る

- ▶ 医療情報連携ネットワークとは
 - ▶ データで見る
 - ▶ ピックアップ事例
 - ▶ 事例を探す

 - ▶ 構築手順
 - ▶ 構築手順について
 - ▶ Step1：計画
 - ▶ Step2：構築
 - ▶ Step3：運用
 - ▶ Step4：更改

 - ▶ FAQ
 - ▶ 用語集
 - ▶ お役立ち情報
 - ▶ リンク集
 - ▶ 資料ダウンロード